

第13回 ゆらぎの里ヴィオラマスタークラス
東京公演 2017



こんなに色鮮やかで心躍る「四季」を誰が想像しただろう。

4 SEASONS CONCERT

ピアソラ「フエノスアイレスの四季」*
ベンジャミン「ヴィオラ、ヴィオラ」
ヴィヴァルディ 協奏曲集「四季」*

* 小早川麻美子編曲ヴィオラ合奏版

THE 13TH OTARU VIOLA MASTER CLASS
IN TOKYO 2017

降り積もる雪の中で、素敵な仲間と音楽だけに熱中できる小樽は、私にとって本当に特別なところです。(今井信子)



2017. 1. 16 MON.
18:30 OPEN / 19:00 START
浜離宮朝日ホール

全席指定(税込) 一般 4,000円 学生 2,000円

朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990

イープラス <http://eplus.jp/> <PC&携帯>

チケットぴあ 0570-02-9999

(Pコード: 309-194)

<http://pia.jp/t> <PC&携帯>

主催/ヴィオラマスタークラス実行委員会

<http://vmc-otaru.info/> Eメール vmc.takano@gmail.com

お問い合わせ /  株式会社 AMATI TEL. 03-3560-3010



北の大地に咲いた「四季」

谷本 裕

「ノー・リスク、ノー・グローリー。『リスクのない栄光はない』という言葉が好きだ。今しかできないことがたくさんある。階段を一つあがって高いところに進もうと思ったら、覚悟を決めて進んで行くしかない」。ヴィオラ奏者・今井信子さんから私が学んだことの中で、最も強い影響を受けたのは、この言葉かもしれない。

彼女は青年時代、米国の国際的な教育音楽祭「タングルウッド」で名手の演奏に触れ、電撃的にヴィオラ奏者を志して単身、渡米。当時の日本には存在していなかった「世界的なヴィオラのソリスト」を目指し、道なき道を切り拓いてきた。「人がまだ踏んだことがない雪道を行きたい」というその言葉は、しなやかに逞しいフロンティア精神を余すことなく物語る。

そんな「音楽の開拓者」が、冬の北海道で取り組んでいるのが「ゆらぎの里ヴィオラマスタークラス」である。初回は2004年。2017年で13回目を迎える。開催地は小樽。天然の良港に恵まれ、開拓期以降、商業都市として発達。大正期には「北のウォール街」と呼ばれるほどの繁栄を謳歌した歴史の町。その奥座敷ともいわれる朝里川の温泉街で、地域の人々の愛情と熱意に支えられ、連続と続く音楽教育プロジェクトだ。

今井さんをはじめ、世界の腕っこの講師の下、約10日間、ソロやアンサンブルの技法、解釈、そして音楽の奥義をみっちり学ぶのは、これまた世界各地から選抜された若手ヴィオラ奏者の面々。難関国際コンクールの覇者や、既にプロとしてのキャリアに踏み出した素質の持ち主もいる。和やかな中にも厳しさが宿る気風の中、先達の貴い助言を受け、見る見る才能を開花させるそのプロセス。師も生徒も何物にも代えがたい体験だろう。16年のシーズンを訪れた折も、窓外の白銀を融かさんばかりの熱気が、会場のホテルに溢れていた。

期間中、運河から程近いマリナーホールで開かれる、師弟共演のコンサートの数々。いまや冬の小樽の風物詩の一つだ。世界のトップクラスのヴィオラ演奏に、日本に居ながらにして触れられる極めて貴重な機会なのだが、今井さんが音楽教育に携わっている台湾を除くと、きらめくようなその音は、意外にもこれまで「門外不出」だったというから北海道の人は贅沢だ。

今回、その一端が東京のステージでも明らかにされる。取り上げるのは、ヴィヴァルディとピアソラの「四季」を組み合わせたスペシャルプログラム。編曲の才に恵まれたヴィオラ奏者小早川麻美子さんの手になるアレンジと、最新の古楽研究成果を採り入れた奏法で醸し出される、クールで清新な響き。北の大地で今井さんが、仲間とともども成してきた「音楽の栄光」を、必ず、確かに、示すだろう。

(たにもと・ゆたか=元・北海道新聞文化部記者。沖縄県立芸術大学教授)

スタートから早13年。最初は一年に一度小樽の温泉で骨休めをしながら音楽ができればと思って始めたこのマスタークラスが、6、7年前からはアジアからの受講生も迎えるようになり、今では世界の若くエネルギーに溢れたヴィオラ奏者達が集う場となっています。

プログラムもヴィオラのためのオリジナル曲だけでなく、ヴィオラ・アンサンブルのための編曲もの(編曲:小早川麻美子・Emil Ludmány)も取り上げるようになり、さらに数年前からは大槻晃士さんによる画期的なバッハ整もはじまりました。そして昨年は高雄まで足を伸ばして、台湾のヴィオラ弾きたちと交流してきました。

初めての東京公演となる今回は、ヴィヴァルディの「四季」とピアソラ「ブエノスアイレスの四季」のヴィオラ合奏版を披露します。両曲とも小早川麻美子さんの編曲です。そして現代を代表するイギリスの作曲家、ジョージ・ベンジャミンによるヴィオラ・デュオの最高傑作「ヴィオラ、ヴィオラ」も演奏致します。ヴィオラの夢の世界を思う存分お楽しみ下さい。(今井 信子)



■講師/ヴィオラ奏者 今井 信子 Imai Nobuko

国際的ヴィオラ奏者としてソロや室内楽で活躍、CD録音は50タイトルに及ぶ。ヴィオラのための音楽祭「クヴィオラスペース」や「東京国際ヴィオラコンクール」の創設など、世界の音楽界を牽引してきた。紫綬褒章、旭日小褒章、サントリー音楽賞、文化庁芸術選奨文部大臣賞受賞。現在アムステルダム音楽院、クロンベルク・アカデミー、ソフィア王妃高等音楽院、上野学園大学で後進の指導にあたる。2004年より小樽市で「ゆらぎの里ヴィオラマスタークラス」講師を務め、2012年より小樽ふれあい観光大使。

■講師/バロック・スペシャリスト 大槻 晃士 Koji Otsuki

ヴィオロンチェロ・ダ・スパッラ奏者。テンブル大学で指揮法を、マルボロ音楽祭の音楽司書長としてバッハ・カンタータを指導。ガムツ・バッハ・アンサンブル主宰。

■編曲/ヴィオラ奏者 小早川 麻美子 Mamiko Kobayakawa

桐朋学園芸術短期大学ヴィオラ専修卒。編曲を野平多美氏に師事。ヴィオラをメインにした室内楽曲の編曲で、数々の音楽祭や演奏家に寄稿している。

■専属ピアニスト 草 冬香 Fuyuka Kusa

東京藝術大学院、ドイツ国立フライブルク音楽大学卒、ローゼンストック国際ピアノコンクール第1位。ソロ、室内楽と意欲的に活動し、東京国際ヴィオラコンクールでは、全三回において公式ピアニストを務めている。

■ヴィオラ・アシスタント

■ファイト・ヘルテンシュタイン Veit Hertenstein

パーゼル交響楽団首席ヴィオラ奏者。デトモルト音楽大学教授。第1回東京国際ヴィオラコンクールにて第3位と聴衆賞、ヨーロッパ放送連合コンクール第1位。2011年YCA国際オーディションにて最優秀賞受賞。

■大島 亮 Ryo Oshima

神奈川フィルハーモニー管弦楽団首席奏者。第11回コンセール・マロニエ21第1位、第7回東京音楽コンクール第1位。室内楽奏者としても積極的に活動するほか、秋吉台室内楽セミナーで講師を務めるなど後進の指導にもあたる。

■山本 由美子 Yumiko Yamamoto

デトモルト国立音大、ケルン国立音大卒。81年ウォルフガング・ホックコンクール第1位。82年ジュネーブ国際コンクール銅メダル、バロックザール賞受賞。京都市立芸術大学音楽学部、相愛大学音楽学部非常勤講師。

■ゲスト/チェロ奏者

■奥泉 貴圭 Takayoshi Okuizumi

ドイツ・トロツィンゲン音楽大学を経てバイエルン国立歌劇場契約団員として研鑽を積む。ピバホールチェロコンクール2位。上野学園大学講師。

■ポール 賢司 ウィアンコ Paul Kenji Wiancko

ポーランド放送交響楽団とルトスワフスキのチェロ協奏曲を、ブルーノートでチック・コリアと共演するなど、チェロ奏者兼、作曲家として広く活動する。

■受講生/ヴィオラ エンチ・チェン

En-chi Cheng (台湾) カーターイス音楽院

■藤原 右京 Ukyo Fujiwara

桐朋学園大学

■ミンコ・シュ Ming-Yu Hsu (台湾)

カーティス音楽院 ★

■桂田 光理 Hikari Katsurada

東京藝術大学

■小笹 文音 Ayane Kozasa

2011年プリムローズ国際ヴィオラコンクール優勝。フィラデルフィア室内管弦楽団首席

■チンハン・リン Ching Han Lin (台湾)

アムステルダム音楽院

■ヘス・イ Hae-sue Lee (韓国) ★

カーティス音楽院

■サンジン・イ Sung Jin Lee (韓国) ★

ジュリアード音楽院。2013年ターティス国際ヴィオラコンクール特別賞

■ハヤン・パク Hayang Park (韓国)

延世大学校

■ジユ・シェン Ziyu Shen (中国)

クロンベルク・アカデミー。第11回ターティス国際ヴィオラコンクール第1位

■鈴木 慧悟 Keigo Suzuki

カーティス音楽院

■辻 菜々子 Nanako Tsuji

東京藝術大学

■山本 一輝 Itsuki Yamamoto

桐朋学園大学

★印はアジアからの受講生に対する奨学金助成対象者(本年度は3名)



ヴィヴァルディ「四季」ダイジェストを
YOUTUBEで公開中!
<http://urx.mobi/tQTM>

浜離宮朝日ホール

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2

朝日新聞東京本社・新館2階 TEL:03-5541-8710

「築地市場駅」都営大江戸線(A2出口)すぐ

「築地駅」東京メトロ日比谷線(1、2番出口)より徒歩約8分

「東銀座駅」東京メトロ日比谷線/都営浅草線(6番出口)より徒歩約8分

「汐留駅」都営大江戸線(新橋駅方面改札口)/新交通ゆりかもめ(改札口)より徒歩約10分

「新橋駅」JR(汐留口)/東京メトロ銀座線(1、2番出口)/都営浅草線(改札口)より徒歩約15分

